

新ビジネス版

電話 03(6667)1031
FAX 03(6667)1033

環境関連商材 本格販売を開始

小型商用EVトラックPR

マルシメ 展示会出展

【豊橋市＝愛知】マルシメ(ENEOS系)本社豊橋市・大熊康丈社長)はこのほど、環境関連商材の販売などを中心とした「環境事業」への本格的な取り組みを開始した。10月に名古屋市内で開催された製造カーボンプリントラブル・GX展「グリーンファクトリーEXPO」にアフラックス(豊橋市)と共同出展。会場でマルシメが小型商用EV(電気自動車)軽トラック「ELEMOMO」実車を展示。アフラックスはバイオ潤滑油「エイトオイル」などを展示した。



協業企業はバイオ潤滑油紹介



注目を集めた商用EV軽トラック(上)。協業先のアフラックスのバイオ潤滑油

アフラックスは回収した廃食物油を国内初の植物性工業用潤滑油を製造する循環型モデルを構築し「健康経営」への貢献を目指している。先頃バイオ潤滑油「エイトオイル」を販売開始したばかり。マルシメはバイオ潤滑油の品質分析などで協業し、アフラックス製の植物性潤滑油

滑スプレー「エコソール」の販売を開始。また人体や環境に安心・安全な植物由来の金型などの洗浄剤・溶剤(インフィニティ製)などの販売も始めた。小型商用EVの取り組みについて、同社は導入企業などに充電設備、補助金申請代行など

大熊社長は「環境関連商材を扱うことで、法人客に関心をもってもらえる可能性が高い。結果的に工場で使用する石油製品の受注機会にもつながる。化石燃料を長年扱ってきた老舗ならではの環境対策で社会に貢献したい」と話している。

ドコンサルティングを
行い、整備や車検など
アフターサービスも対
応する。
今後、本社事務所に
ショールームを新設す
る。「ELEMOMO」
を常設展示し、専用モ
ニターでPR動画を流
し、商談に活用する考
えだ。